



ジェンダーギャップ解消 基本戦略を策定するのはなぜか？

人口減少対策のスピードを上げるために
ジェンダーギャップ^(※1)の視点で課題を可視化する

三重県では、出生数の減少とともに、県外への転出者が、転入者よりも多い状況が続いており、平成19(2007)年をピークとして人口減少の局面に入っています。その減少率は徐々に増加しており、令和2(2020)年には177万人だった人口が、このままでは令和32(2050)年までの30年間で約42万人減少すると推定されています。これは、現在の津市(約27万人)と松阪市(約15万人)の人口を合わせた規模に相当します。特に15歳から29歳の若者、中でも女性の転出超過が止まらないことが大きな課題です。

いことが、人口流出や人材不足の一因となっています。

三重県が人口減少対策をより進めていくためには、ジェンダーギャップの視点で課題を可視化し、これまで見過ごしていた課題を把握し、改善につなげていく必要があります。

ジェンダーギャップの解消には、その解消をめざすという強い意識と社会全体の変革が必要です。そのため、経済分野におけるジェンダーギャップ解消に向けた取組の方向性を示した「三重県ジェンダーギャップ解消基本戦略」を策定し、県内企業、教育機関、行政、県民の皆さん等あらゆる主体が共有・連携してオール三重で取組を進めていきます。

なぜ、若い世代、特に女性が 都会へ流出してしまうのか？

この課題解決に向けて、経済団体、有識者、県内企業で働く女性、高校生、大都市圏へ転出した県出身者等、さまざまな立場の人びとから意見を伺い、アンケート等の調査分析を進めてきました。

その結果、東京一極集中が加速する背景には、ジェンダーギャップの存在があることが明らかになりました。特に三重県では、給与や雇用形態等の経済分野における男女差が大き



CONTENTS

- P.01 はじめに
- P.02 三重県における現状
- P.11 三重県が取り組むべき基本的な3つの課題
- P.24 データでわかる三重の強み
- P.26 ジェンダーギャップ解消に向けた基本的な考え方と三重のめざす姿
- P.28 経済分野におけるジェンダーギャップ解消に向けた3つの戦略
- P.33 わたしたちのめざす目標
- P.35 県内取組事例の紹介
- P.44 リーダー・インタビュー
- P.46 育休パピインタビュー
- P.48 人生のポートフォリオ
- P.50 数字で見る自社の魅力シート
- P.52 アンコンシャス・バイアスを学ぼう動画・チェックシート
- P.54 無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)事例集・チェックシート
- P.56 夫婦が本音で話せる魔法のシート



※1 性別による隔たり、また男女間の格差。(岩波書店『広辞苑 第七版』「ジェンダー・ギャップ」項)